

# お子さんと



# 学習の進め方

## について話してみませんか？

学習指導要領では、三つの柱からなる「資質・能力」を総合的にバランスよく育てていくことが示されています。

### 資質・能力の三つの柱

#### 学びに向かう力、人間性等

- 学びに向かう力や、自らの思考のプロセス等を客観的に捉える力など
- リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやりなど

#### 知識及び技能

- 各教科等に関する個別の知識や技能など

学んだことを人生や社会に生かそうとする

「学びに向かう力、人間性等」

実際の社会や生活で生きて働く

「知識及び技能」

未知の状況にも対応できる

「思考力、判断力、表現力等」

#### 思考力、判断力、表現力等

- 問題を発見し、解決を図り、そのプロセスを振り返って次の問題発見・解決につなげていくことや、協力しながら問題を解決していくために必要な力など

学習指導要領で示されている資質・能力を、御家庭での会話を通して、更に育むことができます。

### お子さんが

安心して自分の考えを伝えられるように、以下のことを意識してみましょう。

- お子さんの顔を見て、会話をしましょう。
- お子さんの話を、最初から否定しないで聞きましょう。
- お子さんの話を、最後までさえぎらずに聞きましょう。
- お子さんの話を聞くときは、うなずいたり、受け止めの言葉を発したりするなど、積極的に聞いている姿勢を示しましょう。



## お子さんの学びが深まる！

以下のポイントを意識して話してみましょう。

- ✓ 解決の見通しを立ててから学習を始めるよう、声を掛けましょう。
- ✓ 大切な言葉や公式などは意味を理解して覚えるよう、声を掛けましょう。
- ✓ 自分が考えたことを積極的に他の人に伝えるよう、声を掛けましょう。

## 「令和7年度全国学力・学習状況調査」小学校国語2三の問題

### 問題の概要

【ちらし】の二重傍線部を、【調べたこと】を基に詳しく書く

### 出題の趣旨

目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる

#### 【調べたこと】

##### 本を読んで分かったこと

- ブックカバー
  - ・何回か折るだけで、すぐに完成する。
  - ・本の大きさに合わせて包むことができる。
- ペットボトルカバー
  - ・ペットボトルを包んで持ち運ぶことができる。

##### 使ってみて分かったこと

- ブックカバー
  - ・よごれがつくのを防ぐことができてよかった。
  - ・落としたときに、本がきずつかなかった。
- ペットボトルカバー
  - ・水てきが荷物につかなくてよかった。
  - ・温かい飲み物が冷めにくかった。

#### 調査の結果

|         | 正答率   |
|---------|-------|
| 東京都(公立) | 62.1% |
| 全国(公立)  | 61.3% |

【ちらし】の——部を書き直し、くわしくする。【一文でなくてもよい】  
 【調べたこと】の本を読んで分かったことと使ってみて分かったこととをそれぞれ言葉や文を取り上げて書くこと。六十文字以上、百文字以内にまとめて書くこと。

#### 条件

#### 【ちらし】

### 手ぬぐい

手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。そのよさは、どのようなものなのでしょう。

#### よさ1 もよう

さまざまなもようがあり、好きなもようを選ぶことができます。おくり物としてもぴったりです。

#### 季節を感じるもよう

手ぬぐいには、植物や風景をもとにしたもようがあります。季節に合わせて手ぬぐいを選ぶことができます。

#### しゅみや好きなものに合わせたもよう

スポーツや音楽などに関係するもようの手ぬぐいもあります。相手の——このみに合わせて、もようを選び、おくることができます。

#### よさ2 使い方

手などをふくだけではなく、身に着けたり、物を包んだりすることもできます。

#### 身に着ける使い方

あつい日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。また外で作業するときに頭にかぶると、あせをきゅうしゅうし、両手が空くので仕事がしやすくなります。

#### 物を包む使い方

手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。このように、手ぬぐいは、いろいろなよさがあります。みなさんもぜひ使ってみてください。

山田さんは、【ちらし】の書き表し方について友達に相談し、【ちらし】の——部をくわしく書いたほうがよいと考え、次の【調べたこと】を見直しました。あなたが山田さんなら、どのように書き直しますか。  
 あとの条件に合わせて書きましょつ。

まず、資料の内容を理解しているか、声を掛けてみましょう。



【ちらし】と【調べたこと】がどのような内容か、簡単に教えてくれるかな。

えーと、【ちらし】は…。うーん、説明できるほど、しっかりと読んでいなかったかも。



次に、伝えたい情報を取捨選択し、考えを整理できるよう、声を掛けてみましょう。



【調べたこと】の中で、伝えたいことは何かな？

ブックカバーについては、「何回か折るだけですぐに完成する。」「よごれがつくのを防ぐことができてよかった。」、ペットボトルカバーは、「包んで持ち運ぶことができる。」「水てきが荷物につかなくてよかった。」が伝えたいことだと思う。

どこに何が書かれているか、伝えたい情報は何かなどを整理してから書くことが大切だね。



解決の見通しを立ててから学習を始めることが大切

書く目的や意図を明確にすることが重要。伝えたい情報を取捨選択して書くことが大切。

読み手の立場から「どこを詳しくすれば目的や意図に応じた文章になるのか」ということを中心に、お子さんにアドバイスしましょう。



## 「令和7年度全国学力・学習状況調査」小学校算数4(4)の問題

## ● 問題の概要

10%増量したつめかえ用のハンドソープの内容量が、増量前の何倍かを選ぶ

## ● 出題の趣旨

「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができるかどうかをみる



増量前  
(800mL)



ア 倍



増量後

増量後のハンドソープの量は、増量前のハンドソープの量の何倍ですか。  
左のⒶに当てはまる数を、下の1から4までのの中から1つ選んで、  
その番号を書きましょう。

1 0.1    2 1.1  
3 10    4 110

## 調査の結果

|     | 東京都<br>(公立) | 全国<br>(公立) |
|-----|-------------|------------|
| 正答率 | 52.3%       | 40.9%      |

まず、学校で学習した内容が理解しているか、声を掛けてみましょう。



このハンドソープ、「10%増量」となっているね。  
学校では「割合」についてどのようなことを学んだのかな？

えーと、「%」とか…。「10%」は「0.1」と学んだけど…。

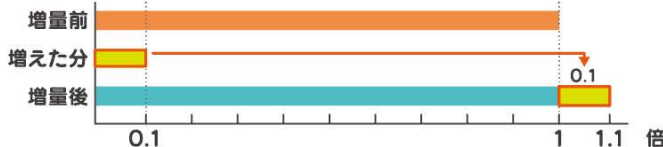


次に、言葉や図、式を関連付けて、数量の関係を捉えることができるよう、  
声を掛けてみましょう。

「10%増量」ということは、増量前の何倍になっているか、  
一緒に図に表してみよう。



もとの量を1とすると、0.1増えたことになるから…。



図にすると、増量前と増えた分の関係が分かりやすくなるね。  
学習するときは、割合の意味や関係を考えることが大切だよ。

大切な言葉や公式などは、意味を理解して覚えるようにすることが大切

言葉や図、式を関連付けながら数量の関係を考察できるようにすることが重要。

日常生活における割引や割増などの割合が用いられている場面を取り上げ、割合の意味を基に考えるきっかけを与えましょう。



## 「令和7年度全国学力・学習状況調査」小学校理科4(3)クの問題

## ● 問題の概要

海面水位の上昇について、水の温度による体積の変化を根拠に予想しているものを選ぶ

## ● 出題の趣旨

「水は温まると体積が増える」を根拠に、海面水位の上昇した理由を予想し、表現することができるかどうかをみる

## 調査の結果

|     | 東京都<br>(公立) | 全国<br>(公立) |
|-----|-------------|------------|
| 正答率 | 68.0%       | 65.6%      |

ひろみさんとゆういちさんは、気温に関するニュースを知り、話しています。

日本の1年間の平均気温が、過去100年間で約1℃高くなったことをニュースで知りました。



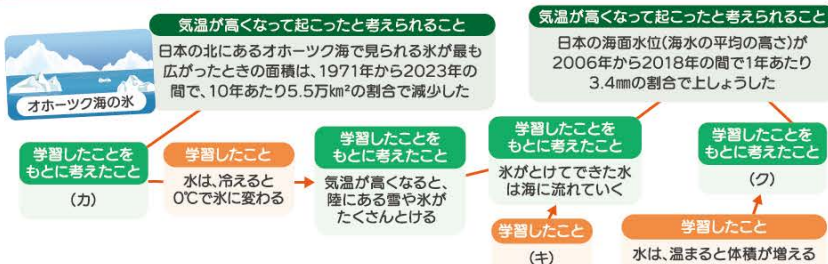
ひろみ



ゆういち

「気温が高くなって起こったと考えられること」について、ひろみさんと思い出したり考えたりしたことを、「学習したこと」や「学習したことをもとに考えたこと」に分け、まとめた。

## 理科学習まとめ



図の(カ)から(ク)の中には「学習したこと」や「学習したことをもとに考えたこと」が入ります。(カ)から(ク)の中にあてはまるものを、右の1から4の中からそれぞれ1つずつ選んで、その番号を書きましょう。

- 海水は、温まると水と同じように体積が増える
- 海の氷は、平均気温が高くなるとできにくくなる
- 水は、高い場所から低い場所へと流れる
- 水は、氷になるとき体積が増える

まず、学習した内容を理解しているか、声を掛けてみましょう。



水は、温めると体積はどう変わるか、習った？

水は温められると体積が増えるよ。



次に、学習した内容と自然現象や生活をつなげて考えられるよう、声を掛けてみましょう。



それでは、地球温暖化が進んで、海の水が温められると、どうなると思う？

海の水が温められると、海の水の体積が増えると思うな。



そうだね。実際に日本でも、海面水位(海水の平均の高さ)が上昇しているみたいだよ。学校で習ったことを、身近な自然現象や日々の生活に関連させて考えると、理解が深まるね。

自分が考えたことを積極的に他の人に伝えることが大切

学習したことを基にして、自然現象について予想し、説明できることが重要。

学習したことを自然現象や生活に当てはめて考えられるように、お子さんに質問をしましょう。

